

令和7年春の農作業安全運動強化期間 4月15日～6月30日

今日も無事故で家族が待つゴールへ

1年間に全国で約240人の方が、農作業事故により亡くなられており、ここ数年減少傾向ですが、岡山県では毎年10件前後の死亡事故が発生しており高止まりが続いています。

農作業中の死亡事故のうち最も多いのは、乗用型トラクターによるもので、転落・転倒などの事故が後を絶ちません。

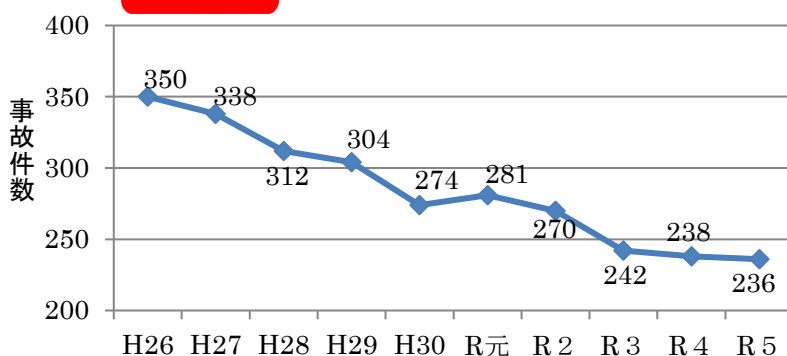
特に高齢になると、今までと同じ操作をしているつもりでも、誤操作をしてしまうことがあります。慢心は禁物です。

不慮の事故は、あなたの大切な家族の生活を一変させます。安全第一を心掛けて農作業に取り組んでください。



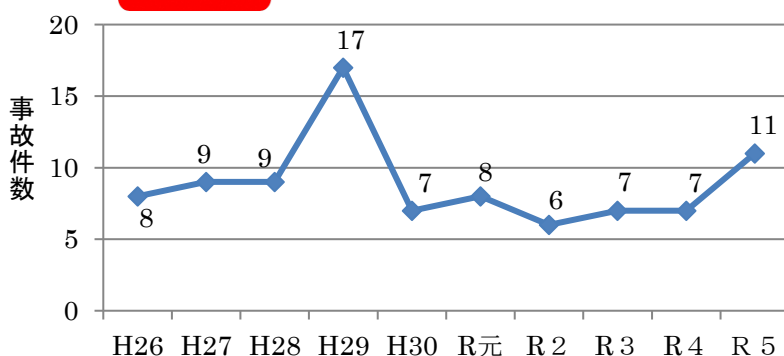
年次別農作業死亡事故発生状況

全国



死亡事故の8割以上は高齢者です！

岡山県



事故の重大化を防ぐために！

事故対策に完全はありません。事故を起こしたとしても、すぐに救助が行われれば助かる命もあります。次のことを日頃から心掛けましょう。

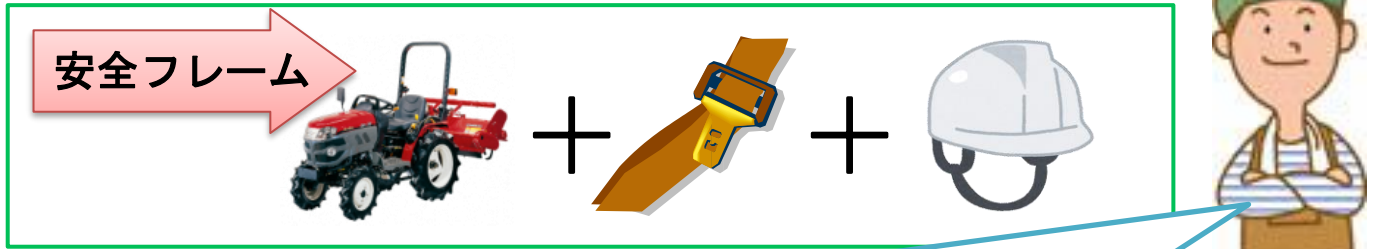


- 家の近くであっても、携帯電話を携帯しましょう。
- その日の作業計画(内容・場所)を家族に伝えておきましょう。
- 道案内ができるように、ほ場までの経路上の目印を確認しておきましょう。



安全対策を見直そう！

①安全キャブ・フレームのあるトラクターを使用し、シートベルト・ヘルメットの着用を徹底しましょう！



安全キャブ・フレームのあるトラクターでもシートベルトを着用しなければ、安全域の中に身体が固定されないため、転倒した際に身体を守ることはできません。

②農業機械は正しく使おう！



体調管理にも気をつけよう！

春先の季節の変わり目は体調に注意が必要です。体調が悪い時は無理せず休養しましょう。

●こまめに休憩をとり、無理のない作業計画を立てましょう

●**熱中症**に注意しましょう！

まだ身体が暑さに慣れていない時期こそ注意が必要です！

- 高温時の作業は避けましょう
- 単独作業は避けましょう
- こまめに休憩&水分補給しましょう
- 熱中症対策アイテムを活用しましょう

注意

